

発行日：2026年 1月 16日

2025年 第2版

環境経営レポート



株式会社 荒尾電工



対象期間：2024年12月～2025年11月

目 次

1. 組織の概要	P. 1
2. 認証・登録の対象範囲	P. 1
3. 実施体制	P. 2
4. 環境経営方針	P. 3
5. 環境経営目標	P. 4
6. 環境経営計画	P. 5
7. 取組実績・評価	P. 6～11
8. 次年度の環境経営計画	P. 12
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P. 13
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P. 13

1. 組織の概要

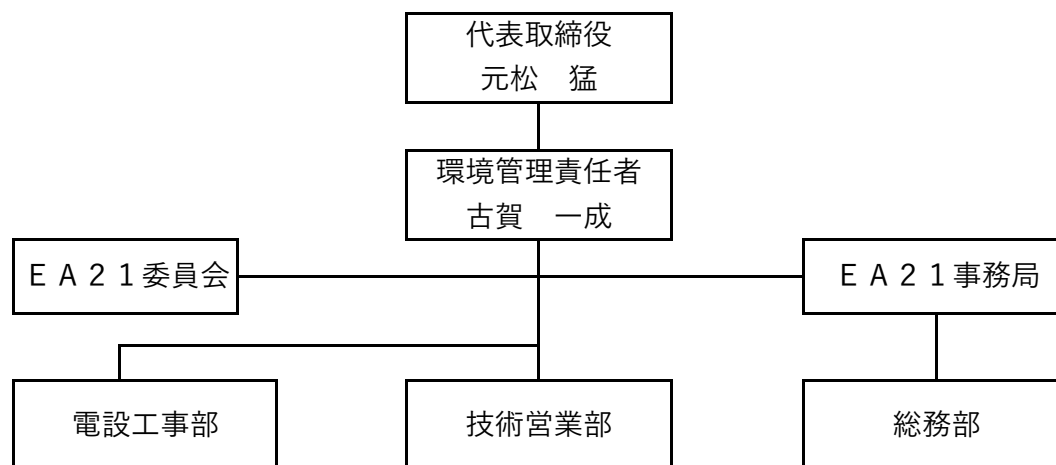
- 1) 事業者名 株式会社 荒尾電工
代表者氏名 代表取締役 元松 猛
- 2) 所在地 本社 〒864-0026 熊本県荒尾市牛水1498番地
車庫 〒864-0026 熊本県荒尾市牛水1501-1番地
- 3) 環境管理責任者氏名及び連絡先
環境管理責任者 技術営業 グループ長 古賀一成
連絡先 TEL 0968-57-7112 FAX 0968-57-7115
E-mail arao-denko@asahinet.jp
- 4) 事業の内容
一般建設業 電気設備工事業・電気通信工事業・管工事業・土木工事業
建設業許可番号 熊本県知事（般-5）第17556号
許可年月日 令和5年11月10日
- 5) 事業の規模 売上高：20,000万円
- | | 単位 | 本社 | 車庫 | 合計 |
|------|----------------|-----|-----|------|
| 従業員数 | 人 | 10 | 0 | 10 |
| 延床面積 | m ² | 733 | 516 | 1249 |
- 6) 事業年度 7月1日 ～ 翌年6月30日

2. 認証・登録の対象範囲

- 1) 対象事業所 本社 、 車庫
- 2) 事業活動 電気設備工事業、電気通信工事業、管工事業、土木工事業

全組織 、 全活動を対象としております。

3. 実施体制



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・ 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する ・ 環境管理責任者を任命する ・ 環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する ・ 環境経営レポートの承認をする
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる ・ 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する ・ 上記の結果を代表者に報告する ・ 環境経営レポートの作成をする
E A 2 1 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3か月に1回開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する
E A 2 1 事務局 総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者を補佐し、E A 2 1 文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・ 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
各部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門全員が周知する ・ 環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・ 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・ 自部門に関連する法規制等を遵守する ・ 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の手順書を作成する ・ 自部門の教育を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

4. 環境経営方針

基本理念

株式会社 荒尾電工は、安心して安全な送電網を構築することを使命とし、地域に希望の灯りを燈す企業を目指し、地域環境の保全と改善を継続的、積極的に取り組み、環境負荷の低減に貢献します。

行動指針

1. 次の項目を重点項目として継続して取り組みます。
 - (1) 電力、燃料の効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量を削減
 - (3) 節水に努め、水使用量を削減
 - (4) 環境に配慮した工事の提案・推進活動
2. 当社の事業に関連する環境関連法規および協定等の遵守に努めます。
3. 地域貢献活動を推進します。
4. 全社員に対する教育及び啓発を行うことで周知を図り、一人ひとりの環境意識の向上に努めます。
5. 社外に環境経営レポートを公開し、社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます。

制定日 2024年 7月 10日

株式会社 荒尾電工

代表取締役 元松 猛

5. 環境経営目標

(1) 環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取り組みの自己チェックおよび環境方針との整合性を図り、以下の項目を環境目標に設定いたしました。

- 二酸化炭素排出量の削減
- 産業廃棄物量の削減
- 電気使用量の削減
- 排水量の削減
- ガソリン使用量の削減
- LED化工事の推進活動
- 軽油使用量の削減
- 地域貢献活動の推進

(2) 環境目標の設定

基準年を2023年度の実績値を基に、環境目標を下記のように設定いたしました。

対象期間：12月～翌年11月



環境経営目標		単位	基準年 2023年度	2025年度 (1%削減)	2026年度 (2%削減)	2027年度 (3%削減)
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg - CO ₂	29,953	29,653	29,353	29,054
① 電気使用量削減	本社	kWh	5,080	5,029	4,978	4,927
	車庫	kWh	216	213	211	209
② ガソリン使用量削減		ℓ	10,367	10,263	10,159	10,055
③ 軽油使用量削減		ℓ	1,387	1,373	1,359	1,345
2. 廃棄物排出量の削減		kg	11,540	11,162	11,049	10,936
一般廃棄物排出量削減		kg	560	554	548	543
産業廃棄物排出量削減		kg	10,980	10,870	10,760	10,650
3. 水使用量の削減		m ³	30	29.7	29.4	29.1
4. 環境に配慮した工事の 提案・工事		回	5	5	5	5
5. 地域貢献活動の推進		回	0	4	4	4




備考

- ・購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.449kg-CO₂/kWh（九州電力 2024年度・調整後）

6. 環境経営計画


環境経営目標を達成するために、以下の具体的な取り組みを設定し、全社員で取り組みます。

環境経営目標		SDGs	活動項目	活動スケジュール
①二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量削減		太陽光パネルの発電量内に使用電力を抑えるよう 節電の意識を徹底する	通年
			空調温度の管理 夏：27度 ， 冬：22度 に設定	冷房：6月～10月 暖房：11月～3月
			不在時の消灯徹底， 事務機器の節電 昼休み時の消灯活動	通年
	ガソリン使用量削減		退社時はPC電源をOFF	通年
			現場に向かう際の車両の乗り合わせ	適時
			排出ガスの抑制に向けた運転方法の配慮(急発 進， 空ふかし等)	通年
軽油使用量削減		建設機械使用時の作業中、こまめなアイドルングス トップを行う	通年	

環境経営目標		SDGs	活動項目	活動スケジュール
②廃棄物排出量 の削減	一般廃棄物量の削減		印刷ミスした書類の裏紙を社内書類で再使用する	通年
			再資源化できるものをリサイクル施設へ搬出する	通年
	産業廃棄物量の削減		使用材料の余剰注文を避ける	通年

環境経営目標		SDGs	活動項目	活動スケジュール
③水使用量の 削減	節水の推進		洗車時はホースに手元バルブを付けて節水をする	通年
			水を流しっぱなしにしないよう励行する	通年

環境経営目標		SDGs	活動項目	活動スケジュール
④環境に配慮した 工事の推進・提案	CO2の削減		LED照明器具の更新を提案する際、CO2削減効 果が確認できる書類を作成し顧客に提出する	通年

環境経営目標		SDGs	活動項目	活動スケジュール
⑤地域貢献活動 の推進	地域貢献活動		一般道の清掃活動を行う	1回/4か月

7. 取組実績・評価

(1) 取組実績

環境経営目標	単位	基準年 2023年度	対象期間 2024年12月～2025年11月				
			目標値	実績	目標達成率	判定	
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg - CO ₂	29,953	29,653	30,935	96%	X	
① 電気使用量削減	本社	kWh	5,080	5,029	4,743	106%	○
	車庫	kWh	216	213	231	92%	X
② ガソリン使用量削減	ℓ	10,367	10,263	10,968	94%	X	
③ 軽油使用量削減	ℓ	1,387	1,373	1,262	109%	○	
2. 廃棄物排出量の削減	kg	11,540	11,424	1,134	1007%	○	
一般廃棄物排出量削減	kg	560	554	534	104%	○	
産業廃棄物排出量削減	kg	10,980	10,870	600	1812%	○	
3. 水使用量の削減	m ³	30	29.7	34	87%	×	
4. 環境に配慮した工事の 提案・工事	回	5	5	3	60%	×	
5. 地域貢献活動の推進	回	0	4	4	100%	○	

備考

・購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.449kg-CO₂/kWh（九州電力 2024年度・調整後）

(2) 評価

①二酸化炭素排出量の削減

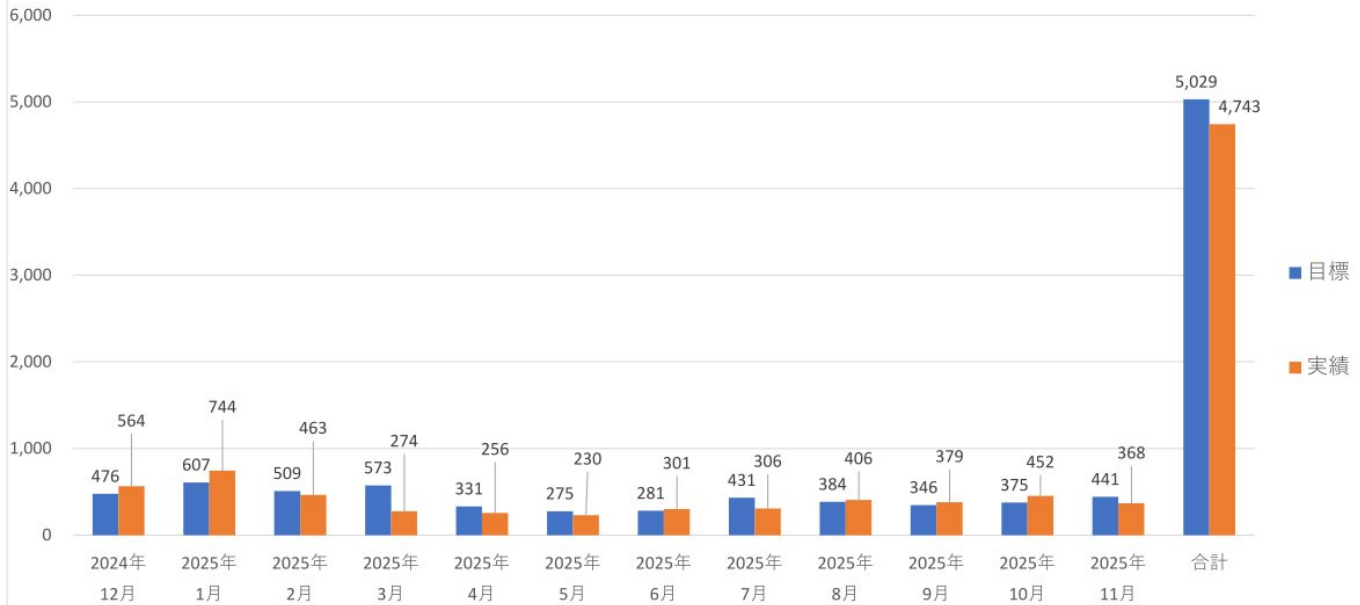
環境経営目標	活動項目	取組評価
電力使用量削減	太陽光パネルの発電量内に使用電力を抑えるよう節電の意識を徹底する	12月と1月は太陽光発電量が少量に対して電気使用量を多く使用してしまったが、年間を通すと発電量に対して86%の使用率だったため、年間を通して節電ができていたと思う。また、2024年に比べても2025年の電気使用量が低い数値となった。
	空調温度の管理 夏：27度 ， 冬：22度	冬場の寒い時期に毛布を使用して暖を取ったりと、設定温度にも気を付けて対応することができた。
	不在時の消灯徹底， 事務機器の節電 昼休み時の消灯活動	年間を通して昼休みのときに点けっぱなしだった照明を全消灯して対応することができた。
	退社時はPC電源をOFF	PCを電源OFFにして退社することができた。今後は外勤する際にも電源をOFFにするよう対応していきたい。

太陽光パネル自給率

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2021年	発電量	231	1,188	1,487	1,266	1,338	1,692	1,838	1,462	1,445	248	261	372	12,828
	使用量	392	331	253	227	176	163	208	283	266	248	261	372	3,180
	自給率	59%	359%	588%	558%	760%	1038%	884%	517%	543%	100%	100%	100%	403%
2022年	発電量	491	996	1,287	1,600	1,800	1,716	1,722	1,860	1,415	1,392	969	837	16,085
	使用量	491	322	296	189	200	185	266	336	773	595	557	892	5,102
	自給率	100%	309%	435%	847%	900%	928%	647%	554%	183%	234%	174%	94%	315%
2023年	発電量	838	862	935	813	993	1,276	1,525	1,886	1,377	988	925	778	13,196
	使用量	866	796	666	541	612	863	1,006	1,065	950	841	876	967	10,049
	自給率	97%	108%	140%	150%	162%	148%	152%	177%	145%	117%	106%	80%	131%
2024年	発電量	929	862	894	1,018	1,298	1,341	1,760	1,973	1,699	998	852	879	14,503
	使用量	1,027	958	1,030	855	1,017	1,082	1,371	1,433	1,318	883	878	1,083	12,935
	自給率	90%	90%	87%	119%	128%	124%	128%	138%	129%	113%	97%	81%	112%
2025年	発電量	937	1,097	989	1,209	1,157	1,298	2,152	1,765	1,450	1,263	849		14,166
	使用量	1,101	967	870	951	878	1,017	1,597	1,320	1,217	1,093	777		11,788
	自給率	85%	113%	114%	127%	132%	128%	135%	134%	119%	116%	109%	#DIV/0!	120%
2026年	発電量													0
	使用量													0
	自給率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
2027年	発電量													0
	使用量													0
	自給率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

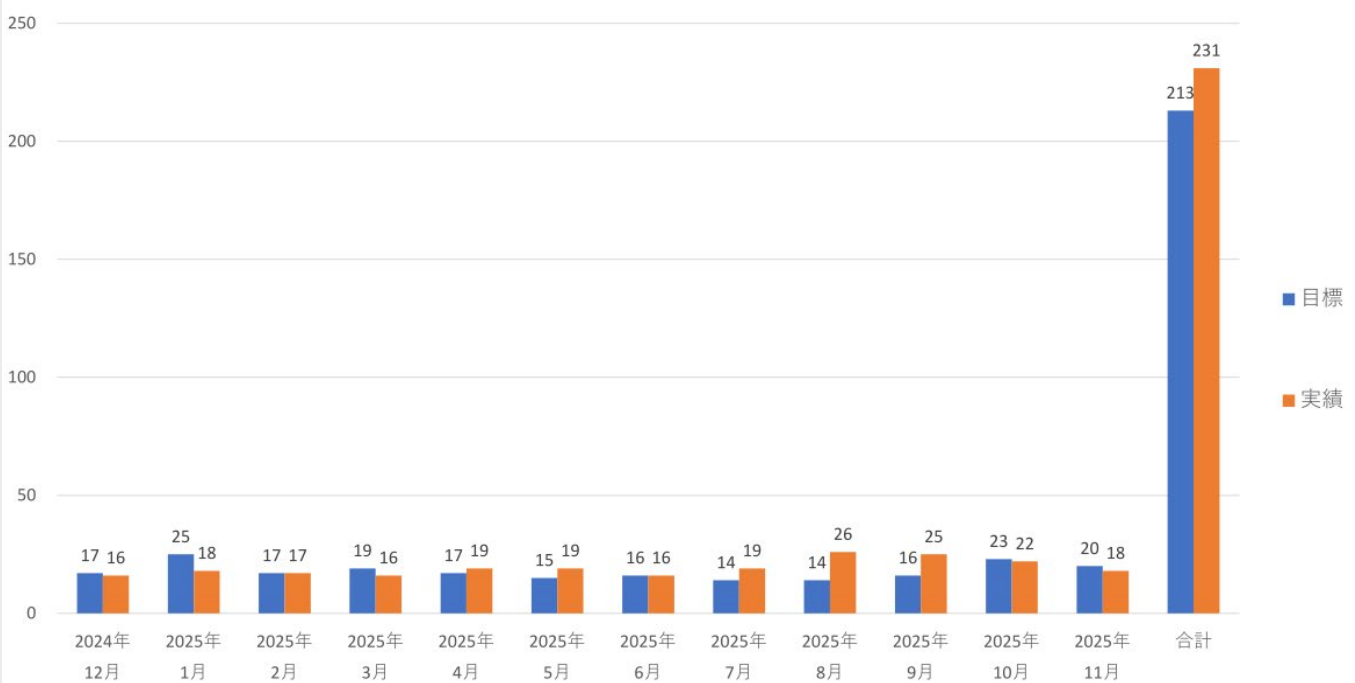
事務所	種類	内訳	単位	2024年 12月	2025年 1月	2025年 2月	2025年 3月	2025年 4月	2025年 5月	2025年 6月	2025年 7月	2025年 8月	2025年 9月	2025年 10月	2025年 11月	合計
目標	電気使用量	使用量	kWh	476	607	509	573	331	275	281	431	384	346	375	441	5,029
実績	電気使用量	使用量	kWh	564	744	463	274	256	230	301	306	406	379	452	368	4,743

電気使用量実績表



車庫	種類	内訳	単位	2024年 12月	2025年 1月	2025年 2月	2025年 3月	2025年 4月	2025年 5月	2025年 6月	2025年 7月	2025年 8月	2025年 9月	2025年 10月	2025年 11月	合計
目標	電気使用量	使用量	kWh	17	25	17	19	17	15	16	14	14	16	23	20	213
実績	電気使用量	使用量	kWh	16	18	17	16	19	19	16	19	26	25	22	18	231

電気使用量実績表

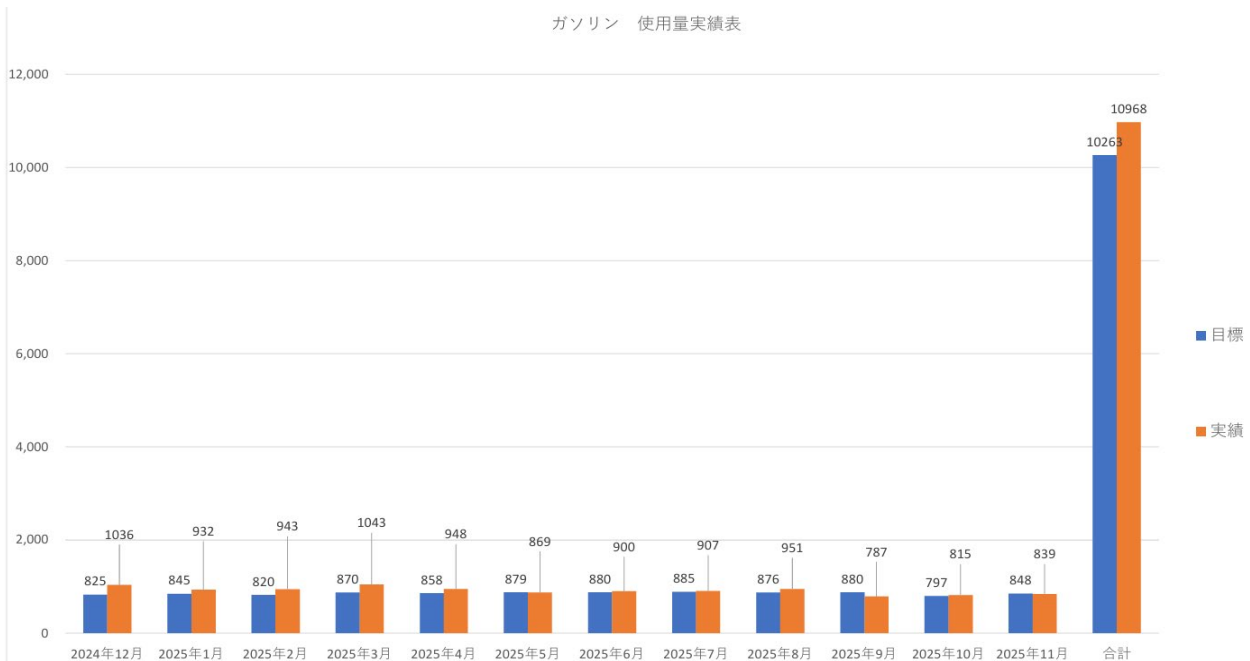


①二酸化炭素排出量の削減

環境経営目標	活動項目	取組評価
ガソリン使用量削減	排出ガスの抑制に向けた運転方法の配慮(急発進, 空ふかし等) 現場に向かう際の車両の乗り合わせ	年間を通して目標値を達成することができなかった。要因としては遠方の現場が多いためことが挙げられる。車両の点検や運転方法の配慮は励行することができたため、維持していききたい。
軽油使用量削減	建設機械使用時の作業中、こまめなアイドリングストップを行う	こまめにアイドリングストップ対応することが出来た。

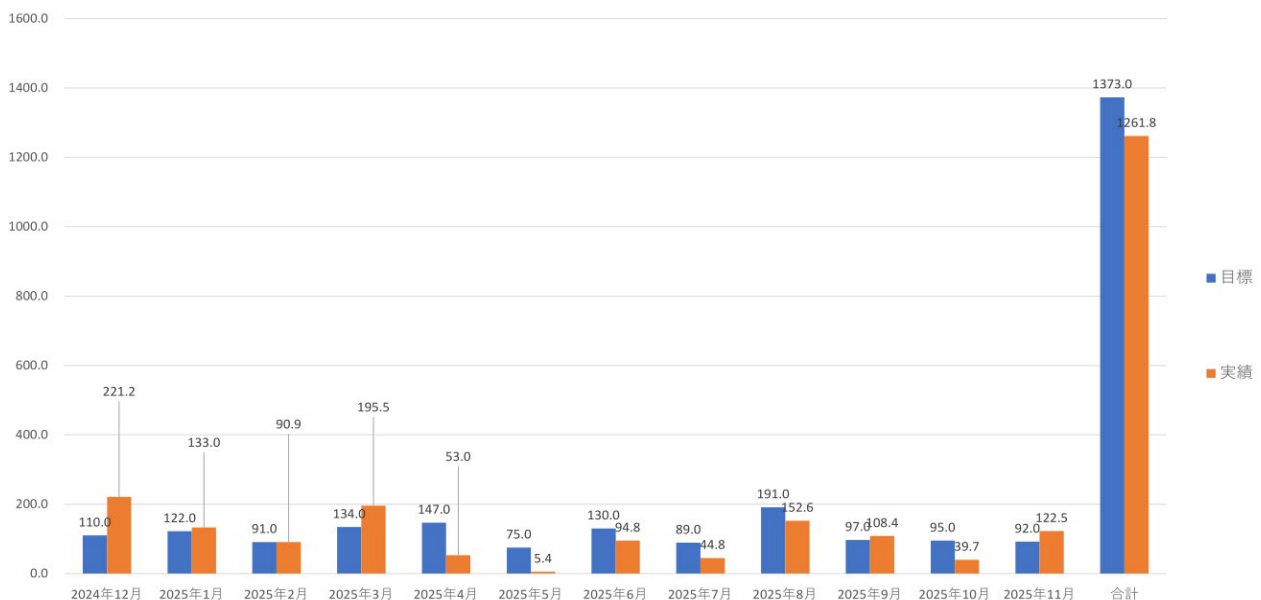
	種類	内訳	単位	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	合計
目標	ガソリン	使用量	L	825	845	820	870	858	879	880	885	876	880	797	848	10263
実績	ガソリン	使用量	L	1036	932	943	1043	948	869	900	907	951	787	815	839	10968

ガソリン 使用量実績表



	種類	内訳	単位	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	合計
目標	軽油	使用量	L	110.0	122.0	91.0	134.0	147.0	75.0	130.0	89.0	191.0	97.0	95.0	92.0	1373.0
実績	軽油	使用量	L	221.2	133.0	90.9	195.5	53.0	5.4	94.8	44.8	152.6	108.4	39.7	122.5	1261.8

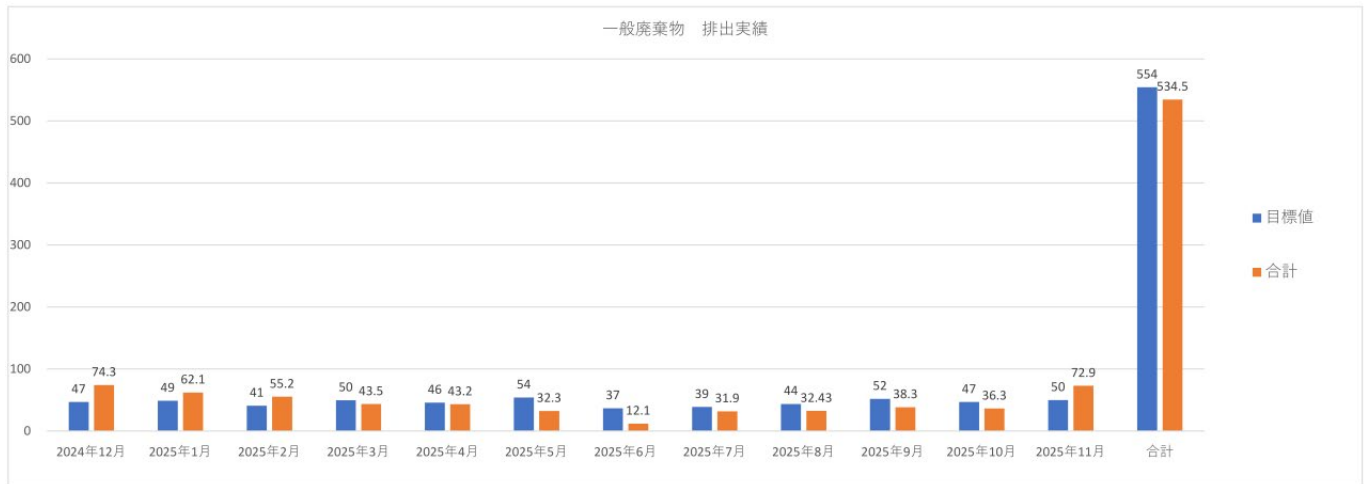
軽油 使用量実績表



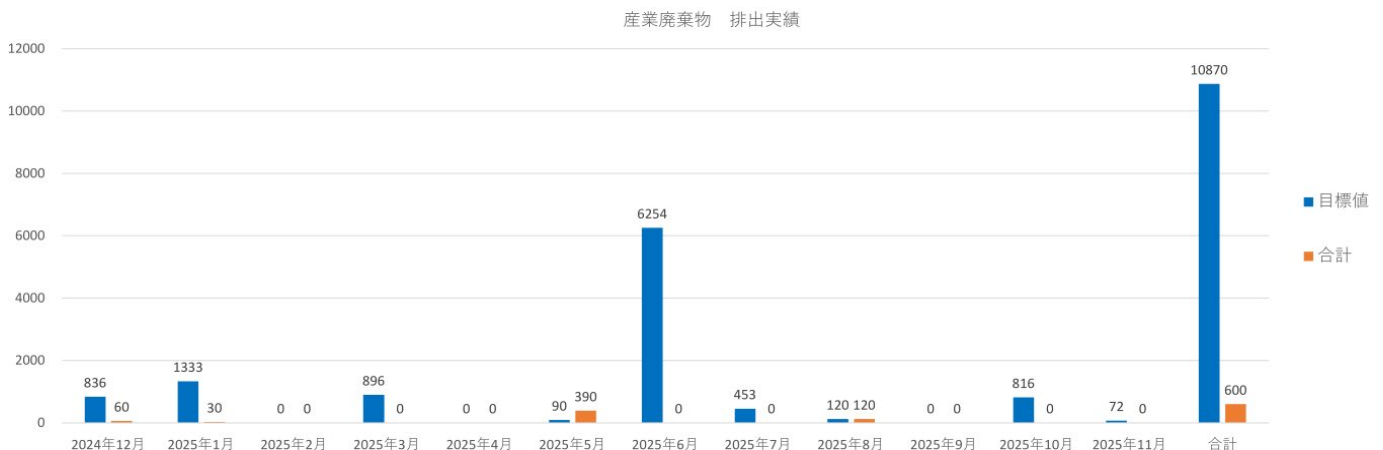
②廃棄物排出量の削減

環境経営目標	活動項目	取組評価
一般廃棄物量の削減	印刷ミスした書類の裏紙を社内書類で再使用する	書類裏の再利用やメモ帳を作成したりと工夫することが出来た。
	再資源化できるものをリサイクル施設へ搬出する	空き缶、ペットボトル、瓶、段ボールを分別してリサイクル施設に搬出する等分別意識を高めることが出来た。
産業廃棄物量の削減	廃棄物を分別してリサイクルを図る	廃棄物量になるべく出ないように資材管理の徹底をしたりと工夫した。前年と比べて、既存コンクリートの産廃がなかったため大幅に減少した。

回数	2024年12月		2025年1月		2025年2月		2025年3月		2025年4月		2025年5月		2025年6月		2025年7月		2025年8月		2025年9月		2025年10月		2025年11月		合計
	重さ(kg)	袋	重さ(kg)	袋	重さ(kg)	袋	重さ(kg)	袋	重さ(kg)	袋	重さ(kg)	袋	重さ(kg)	袋	重さ(kg)	袋	重さ(kg)	袋	重さ(kg)	袋	重さ(kg)	袋	重さ(kg)	袋	
1	9.5	3	3.2	1	4	1	1	1	0.6	1	12.5	4	2.2	1	1.4	1	12.63	5	5.7	2	4.2	1	10.3	1	
2	4.8	2	2	1	7.9	2	2	1	1	1	3.4	1	2.6	1	4.8	2	9	2	4.5	2	9	2	8.2	4	
3	10.7	3	5.5	1	3.7	1	3.5	1	0.6	1	1.5	1	3	1	1.5	1	4.5	1	4	1	4.4	1	30.1	7	
4	5.8	1	2.8	1	6.3	2	2.4	1	2.4	1	2.4	1	3	1	6.7	4	3.8	2	8.5	3	18.7	4	7.3	2	
5	19.2	10	0.8	1	3.3	1	7	1	1	1	4.1	1	1.3	1	2.4	1	2.5	1	7.7	2			5.5	3	
6	5.5	2	4.5	1	30	8	2	1	2.5	1	7.9	2			7.6	4			2.3	1			4.5	1	
7	6	1	6.1	2			2.2	1	2.6	1	0.5	1			7.5	2			5.6	1			7	2	
8	12.8	1	4	1			5.2	1	4	1															
9			3.6	1			3.7	1	28.5	7															
10			29.6	7			14.5	3																	
合計	74.3	23	62.1	17	55.2	15	43.5	12	43.2	15	32.3	11	12.1	5	31.9	15	32.43	11	38.3	12	36.3	8	72.9	20	534.5
目標値	47		49		41		50		46		54		37		39		44		52		47		50		554



回数	2024年12月		2025年1月		2025年2月		2025年3月		2025年4月		2025年5月		2025年6月		2025年7月		2025年8月		2025年9月		2025年10月		2025年11月		合計
	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)	重さ(kg)		
1	60	30									390						120								
合計	60	30	0	0	0	0	0	0	0	0	390	0	0	0	0	0	120	0	0	0	0	0	0	0	600
目標値	836	1333	0	896	0	90	390	6254	453	120	0	816	72	10870											

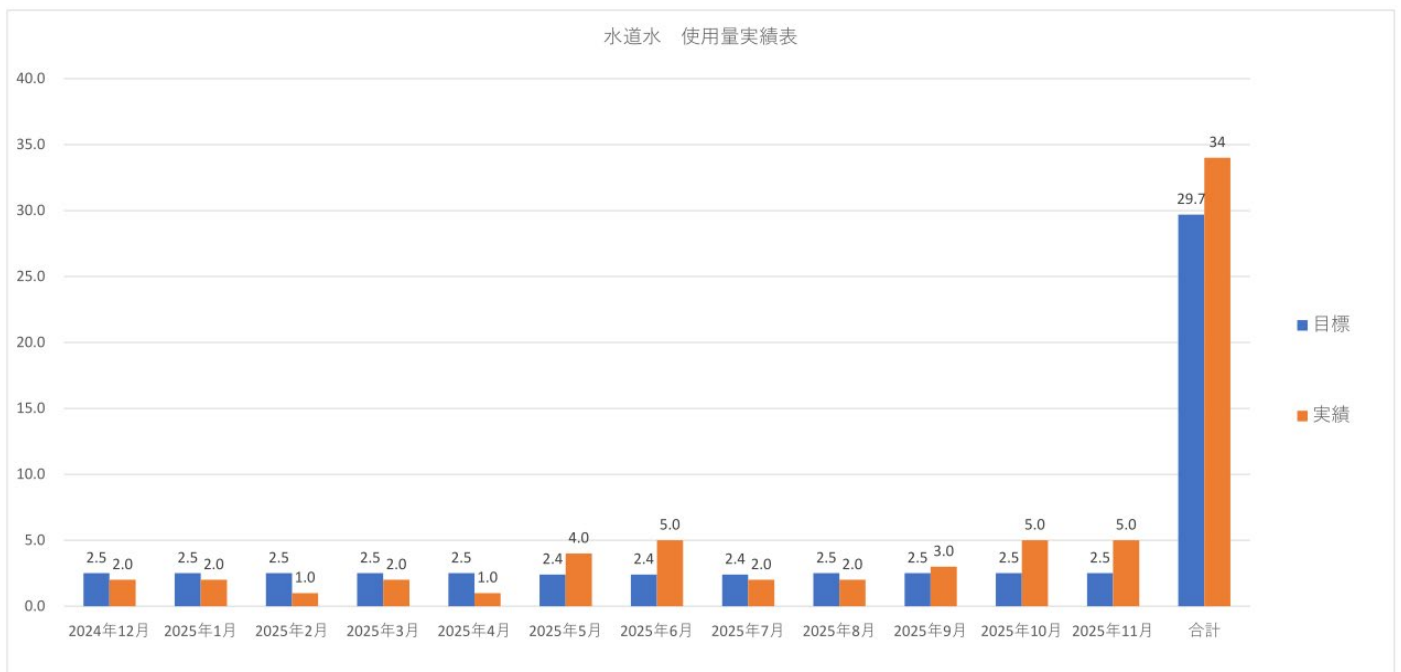


③水使用量の削減

環境経営目標	活動項目	取組評価
節水の推進	洗車時はホースに手元バルブを付けて節水をする	目標値を更新することができなかったが、大容量を使用したわけではなかった。流しっぱなしにしないように励行を継続して行っていく。
	水を流しっぱなしにしないよう励行する	

	種類	内訳	単位	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	合計
目標	上水	使用量	m3	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	29.7
実績	上水	使用量	m3	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	4.0	5.0	2.0	2.0	3.0	5.0	5.0	34

水道水 使用量実績表



④環境に配慮した工事の推進・提案




環境経営目標	活動項目	取組評価
CO2の削減	CO2削減効果が確認できる書類を作成し顧客に提案する	LED化が進んでいるため、中々提案できる頻度が少なく目標値を達成することができなかったが提案書を継続して顧客に提出していく。




⑤地域貢献活動の推進


環境経営目標	活動項目	取組評価
地域貢献活動の推進	一般道の清掃活動を行う	清掃活動を年間を通して行うことが出来た。今後は回数を重ねて行っていきたい。

8. 次年度の環境経営計画

試行期間を基に、以下の具体的な取り組みを設定し、全社員で取り組みます。

環境経営目標		SDGs	活動項目	活動スケジュール
①二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量削減	  	空調温度の管理 夏：27度 ， 冬：22度	冷房：6月～10月 暖房：11月～3月
			充電工具のバッテリーを充電しっぱなしにしない	通年
	ガソリン使用量削減		適切な営業、現場ルートを選定	通年
			排出ガスの抑制に向けた運転方法の配慮(急発進、空ふかし等)	通年
			軽油使用量削減	現場に向かう際の車両の乗り合わせ
建設機械使用時の作業中、こまめなアイドリングストップを行う	通年			

環境経営目標		SDGs	活動項目	活動スケジュール
②廃棄物排出量 の削減	一般廃棄物量の削減	  	印刷ミスした書類の裏紙を社内書類で再使用する	通年
			再資源化できるものをリサイクル施設へ搬出する	通年
	産業廃棄物量の削減		使用材料の余剰注文を避ける	通年

環境経営目標		SDGs	活動項目	活動スケジュール
③水使用量の削減	節水の推進		水を流しっぱなしにしないよう励行する	通年

環境経営目標		SDGs	活動項目	活動スケジュール
④環境に配慮した 工事の推進・提案	CO2の削減		CO2削減効果が確認できる書類を作成し顧客に提案する	通年

環境経営目標		SDGs	活動項目	活動スケジュール
⑤地域貢献活動 の推進	地域貢献活動		一般道の清掃活動を行う	1回/4か月

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理	○
建設リサイクル法	特定建設資材の再資源化	○
家電リサイクル法	業者への適正な処理	○
再生資源利用省令	再生資源利用(促進)計画書，実施書の作成	○
フロン排出抑制法	空調機のフロンガスの適正処理・管理	○
騒音規制法	知事に7日前までに届出を提出 作業敷地境界にて75dB以下	○
振動規制法	知事に7日前までに届出を提出 作業敷地境界にて75dB以下	○
道路交通法	過積載基準の順守、安全運転の励行	○

令和7年11月に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

試行期間の3ヵ月を経て、初めて年間を通して環境に対する意識をもちながら社員全員で取組を行いました。二酸化炭素排出量の減少項目としてガソリン燃料の使用量については目標を達成することが出来ませんでした。稼働していた工事場所による影響ではありますが、結果を真摯に受け止めて、来期は走行ルート of 適正化を行い車両の使用について今後も社員と検討していきます。電気の使用量については、社内の節電活動を徹底することができたため、このまま維持していきます。

環境経営方針、実施体制についても見直しの結果、変更はありません。

来期は2年目になるので良かったところは維持していき、改善できそうなことは社員と模索しながら荒尾電工ができる環境負荷の低減に努めてまいります。